

—夢に向かって挑戦する坪井っ子の育成を目指して—

児童が夢や希望を持ち、これからの社会が予測困難な時代になっても自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、たくましく生きていくために、学習指導要領の趣旨を踏まえ質の高い教育を行う。

また、教育は教職員・保護者・地域の協力、信頼関係の上に成り立つものである。「すべては児童のために」教職員も保護者も地域も一体となり、「わたしたちの坪井小学校」に誇りを持ち、児童も教職員も生き生きとしている活力に満ちた学校づくりに取り組む。

学校教育目標

えがお・げんき・めあて

えがお

- ◎挨拶の徹底
 - ・「あいさつは心をつなぐあいことば」を合言葉として意識化を図る。
 - ・児童会による挨拶運動の実施。
- ◎温かい人間関係づくり
 - ・児童一人一人が成就感を味わうことができ、お互いに認め合い、学び合うことができる学級を目指す。
- ◎生徒指導の機能を生かしたわかる授業の充実
 - ・共感的人間関係を基盤に、自己決定の場を与え、自己存在感を育む。
- ◎道徳教育の充実
 - ・道徳の授業の充実を図る。(授業時数の確保、保護者への授業公開、授業研究会の実施)
 - ・学校教育活動全体を通して道徳性を育む。
- ◎いじめの未然防止と早期発見
 - ・いじめを許さない、学校、学級づくりに努める。
 - ・学校いじめ防止基本方針に則した対応をする。
- ◎特別支援教育の充実
 - ・困り感のある児童へのきめ細かな合理的配慮を行う。
 - ・ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりに努める。
- ◎清掃活動の徹底
 - ・全校児童で学校をきれいにする。

げんき

- ◎体力づくりの推進
 - ・教科体育の充実を図り、運動好きな児童を育成する。(系統性を考慮した体育指導の工夫改善)
 - ・外遊びを奨励する。
 - ・新体力テストの分析と活用。
- ◎安全指導の徹底
 - ・安全教育を推進する。(登下校の仕方、学校生活、放課後、休日の過ごし方等)
 - ・食物アレルギーを持つ児童への適切な対応をする。
- ◎食育の推進
 - ・食育、給食指導を通して健康的な心と身体を育成する。
- ◎学校保健の推進
 - ・保健管理と保健教育の充実を図る。
- ◎職員の危機管理意識の向上
 - ・「最悪を想定し、慎重に、速やかに、誠意を持って、組織で対応する」ことに努める。

めあて

- ◎学習意欲の向上
 - ・学習のめあてが明確な課題解決型の授業を展開する。
 - ・個に応じた指導を図る。
- ◎基礎的基本的な知識・技能の確実な習得
 - ・学習規律の徹底を図る。(学ぶ姿勢の定着、話を聞く、発表する時の態度等、全校で統一した指導)
- ◎主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善(校内研究等の充実)
- ◎ICT機器の効果的な活用と情報活用能力の育成(校内研究等の充実)
- ◎体験活動の充実
 - ・体験的な学習活動の充実を図る。
- ◎読書活動の充実
 - ・朝読書の充実に努める。
 - ・図書室の積極的な活用を図る。
- ◎学習習慣の育成
 - ・家庭との協力により、家庭学習の習慣を図る。

信頼される学校づくり

- ◎学校、学年だより、ホームページ等の情報発信と教育活動の積極的な公開
- ◎コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の活用
- ◎自治会、スクールガードとの連携・地域人材の活用
- ◎教育相談日、スクールカウンセラーの効果的な活用
- ◎外部関係機関(家庭児童相談室、教育支援室等)との連携
- ◎不祥事の根絶(教職員研修、モラールアップ委員会の充実)

児童を大切にする

安全安心な学校にする